

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133605		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	佛山市学生代表団受入事業			担当部局・課	教育委員会学校教育部 学校教育担当			
事業内容	伊丹市国際友好都市である中国佛山市の中学生・高校生が7日間スワンホールに滞在し、市内小・中・高等学校での交流活動（授業参加、部活動参加等）や市内外の見学等を行う。			事業開始(予定)年度				
				平成11年度				
				事業終了(予定)年度				
			—					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	国際交流の推進					
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。								
事業の目的	伊丹市国際友好都市中国佛山市との教育交流の一環として、佛山市の中学生・高校生を受け入れ、両市の親善と友好を深めるとともに、国際理解教育の推進を図る。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育指導費 (事項) 学校教育活動振興指導費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	1,123千円	財源内訳		事業費	1,139千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	1,123千円			一般財源(市税等)	1,139千円
	投入人員	0.21人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.12人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
人件費	1,799千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	1,028千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
経費合計	2,922千円		経費合計	2,167千円				
活動指標	指標名(単位)	市内訪問先（ヶ所）			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	伊丹市内の学校等との交流及び訪問先の数				計画値	10	13
						実績値	13	